

一般社団法人いいいたてネットワーク

活動報告と連携案

平成30年1月12日

発表者 : 代表理事 横山 秀人

自己紹介

- 飯舘村出身 **47**歳 好きなこと 写真撮影
- 飯舘村役場 **21**年間勤務 H5～H26. 3
公民館、農政、企画、畜産、税務等
- 行政書士事務所 **4**年目 H26. 11～
農地法許可申請、遺産分割協議書作成等

なぜ、

「いいいたてネットワーク」を

設立したのか！

きっかけは、『村民の**本当の声**』

- ・飯舘村、福島県、国に対する

意見、要望、提案…

- ・「村役場に言っても、どうせ…。」

という **あきらめ**

まずは、「村民の本当の声」を
飯舘村に届けよう！

個人じゃ影響力が弱い。

声を集め、届ける**団体**をつくらう！

いいいたてネットワーク設立

(資料1)

- ・設立日 平成27年7月31日
- ・目的 飯舘村民の抱える課題を解決するため、様々なネットワークの窓口や主体となる。

「届け！避難者の声プロジェクト」 ここが、スタート

（資料2）

目的 避難者である飯舘村民の声が
行政に伝わる仕組みをつくる

内容 項目別にまとめたレポート
4回提出（H27.8.1～H28.1.13）

飯舘村「転校」経験談紹介プロジェクト

学校再開について、飯舘村と村民の考え方が大きく異なる。→**転校経験談**を収集、村へ届ける。

飯舘村の未来を考えるための データブック作成

目的 飯舘村の復興について検討する際の
基礎資料（**客観的データ**からの施策検討）

なぜ、

「いいいたてネットワーク」を

法人化したのか！

きっかけは、**村民の声**（**悩み・要望**）

- 「**仕事**」としての可能性を感じる
- **仕事**として取り組む**覚悟**
自分、臨時職員、相手方に伝わる
- **信用度**があがる
補助事業の申請・実行がしやすい

一般社団法人 いいいたてネットワーク設立

(資料3)

- 設立日 平成28年11月1日
- 目的 東京電力株式会社福島第一原子力発電所事故に伴い、国より避難指示を受けた飯舘村民を支援する

一般社団法人いいいたてネットワーク

従業員

理事1名（兼業）

臨時職員3名（村民、在宅勤務）

※月10～40時間程度

※補助事業（賃金100%）

**※やってみたい、できるかも
が大前提！ → 補助申請**

地域シンクタンク（活動基盤）

（資料4参照）

- ① 飯舘村議会会議録及び一般質問一覧
- ② 飯舘村の未来を考えるためのデータブック
- ③ 飯舘村の未来を考える会ワークショップ
- ④ いいいたてフォトマップ
- ⑤ 村外コミュニティ再構築のための調査等

できること（村民支援、法人維持）

（資料4参照）

- ① しいたて農家支援センター → 総合窓口
- ② 事務等代行 → 書類作成、経理補助
- ③ 農作業等委託 → 庭木剪定軽作業
- ④ 飯舘村案内、講師等 → 村団体等
- ⑤ しいたて“土業”ネットワーク → 土業紹介

やってみたいこと（**楽しみ**）

（**資料4参照**）

- ① 生活に彩りと癒しプロジェクト
→ **飯舘村内、福島市（避難者最多）**
- ② いいたて移動写真館 → **写真・ドローン**
- ③ ファミリー家系図を楽しむ会
→ **村内はもちろん、村外でも試行**

生活に彩りと癒しプロジェクト

- 1) 草木・花びら染め
- 2) 蕎麦打ち体験
- 3) 癒しのハーバリウム
- 4) 絶対食べたいマレーシア料理

※数日以内に**実績報告**と**アンケート結果HP公開**

※飯舘村にアンケート結果の一部(**悩み**)報告

(予定)

- ・革工芸
- ・美味しいコーヒーの楽しみ方
- 他

いいいたて移動写真館

- 1) 写真・動画撮影、ドローンによる空撮
取壊し前住居(記録)、パンフレット空撮
- 2) 写真展企画・設置補助
(今後)
 - ・写真教室、ドローン操作体験
 - ・村民のお気に入りの場所で撮影(空撮等)
 - ・村民自らがシャッターを押す撮影会

ファミリー家系図を楽しむ会

ファミリー家系図とは、

「夫婦」を中心とした家系図

- 1) 夫婦それぞれの**親戚**を確認できます。
- 2) 子供たちに親戚の**つながり**を説明できます。
- 3) 父母・夫妻・子供たちと一緒に見ることに
よって、**絆**がちょっと深まります…。

社団事業 連携・ご支援等が前提

(資料5参照)

理事1人の小さな社団

当初から、**連携・ご支援・業務委託**を前提

今後も、村民支援につながる**連携等**を実施

役場との連携案

① 定期的な情報交換・検討の場

行政のメリット

村民の「生」の声、団体の声を聞くことができる。

村民の要望に応じた事業計画(単独、連携)が作りやすい。

事業評価(事業感想)を聞くことができ次の事業への参考となる。

社団のメリット

村民の声(悩み、意見、要望、提案等)を適時届けることができる。

活動しやすい補助事業等の要綱を提案できる。

イベント広報等、行政の支援を受けやすくなる。

② 文書・広報等への意見・提案

SNS等を利用して、村民への文書等を**事前確認**

社団の役割

村文書・広報等について、短期間で感想を述べて
いただく、一連のシステムを構築 → 村から受託

行政のメリット

発送する前に、村民の意見・提案を反映できる。

→ 公文書について、**村民の理解度**が増す

③ 役場職員と村民の交流の場

新人・村外出身職員と村民の**交流の場**を企画運営

社団の役割

職員と村民とが気軽に話せる場の設定 →村から受託

行政のメリット

避難のため村民と接する機会が少ない職員へ、
村民と接する機会を増やすことができる。

→ 村民と職員、**お互い声がかかけやすくなる**

今後の方針

一緒に働く**村民の希望**に合わせた事業展開

それぞれが兼業・副業・生きがいの的な参加
仕事として給与を得られる仕組みをつくる

理事1人法人だからこそ、**柔軟**に対応

仕事に合わせた**組織再編**、より良い方法を探る
(個人、任意団体、非営利、営利)

いいたてネットワーク

資料 1

<団体紹介>

1. 団体名 いいたてネットワーク
2. 代 表 横山 秀人
3. 設 立 平成 27 年 7 月 31 日
4. 活動地 飯舘村 飯舘村民避難先市町村
5. 目 的
 飯舘村民の抱える課題を解決するため、様々なネットワークの窓口や主体となる。
6. 将来像
 - 1) 様々なネットワークを通して、飯舘村民が主体的に行動するきっかけをつくる。
 - 2) いいたてまでいな復興計画「ネットワーク型の新しい村づくり」の達成に向けて、飯舘村役場・既存団体等が取り組むことができない事業の新しい担い手となる。
7. 事業内容
 - 1) 「届け！避難者の声プロジェクト」による飯舘村民の抱える課題等の把握と飯舘村役場等関係機関への情報提供
 - 2) テーマ毎にワークショップ等を開催しながら、課題の共有とその解決策の検討・実施

※この他の事業については、事業 1)、2) を行う中で随時、決定する。
8. 運営方針
 目的等に賛同いただける個人及び団体・企業等と協働しながら運営する。

<当団体ホームページ並びにお問い合わせ先>

いいたてネットワーク 代表 横山 秀人 (元飯舘村役場職員)

ホームページ:

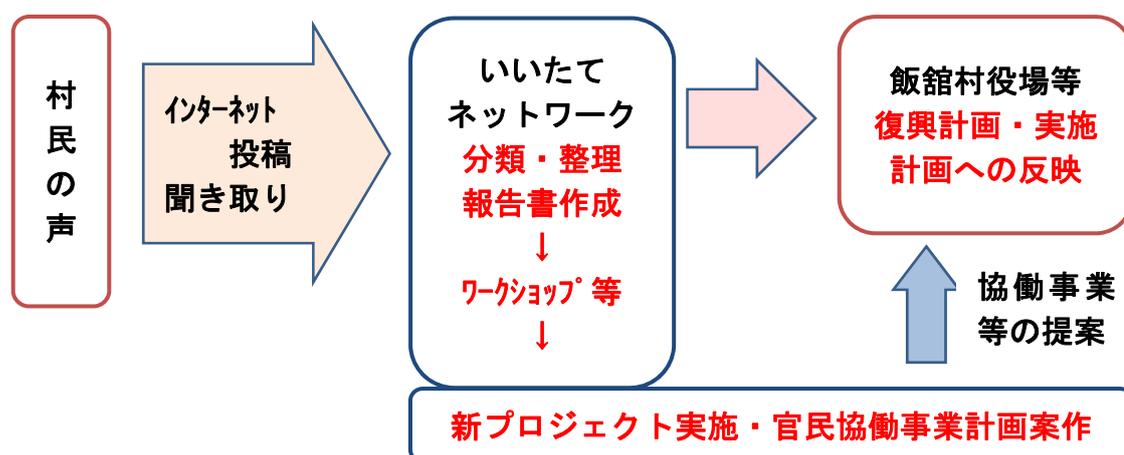
メール : iitate-network@office.nifty.jp

「届け！避難者の声プロジェクト」

資料 2

- 1. 背景** 住民懇談会への参加者及び世帯代表者アンケートの世代別回答数から 40 代以下の村民の意見・要望等の把握が大変困難であることが分かる。
また、住民懇談会及び世帯代表者アンケートとも、準備期間が必要であるため、次の実施までの間隔が半年以上となる場合もある。
- 2. 必要性** これから 10 年・20 年・30 年先の村づくりを計画実施する上で、40 代以下の村民（男女共）の意見・要望等の集約が必要である。
また、40 代以下に限らず村民の意見・要望等については、避難状況の変化、子供の修業等により、その時々に変化する度合いが大きい。よって、常時、意見・要望等を受け取り整理する窓口が必要である。
- 3. 目的** 避難者である飯館村民の声が行政に伝わる仕組みをつくる
- 4. 方法**
 - 1) いつでも、どこからでも、気軽に意見・要望等が言えるように、スマートフォン・タブレット・パソコンから入力できる投稿ページをインターネット上に設ける。（匿名とする。公表・非公表を選択。代理投稿も可。）
 - 2) そこに集まった意見・要望等を定期的に分類・整理したうえで報告書を作成し、電子データ等で飯館村役場等に情報提供する。
 - 3) 公表承諾をいただいた意見・要望等を当団体ホームページ上で公表する。
- 5. 将来像**
 - 1) 村民の意見・要望等から、テーマを設けてワークショップ等を開催し、解決策の検討や新プロジェクトによる事業を実施する。また、官民協働で行った方がより効果が高いものについては飯館村役場等へ事業提案する。

<「届け！避難者の声プロジェクト」のイメージ図>



履歴事項全部証明書

資料 3

福島県相馬郡飯館村飯樋字八和木 5 5 番地
一般社団法人いいたてネットワーク

会社法人等番号	3800-05-011747
名称	一般社団法人いいたてネットワーク
主たる事務所	福島県相馬郡飯館村飯樋字八和木 5 5 番地
法人の公告方法	主たる事務所の公衆の見やすい場所に掲示する方法により行う
法人成立の年月日	平成 28 年 11 月 1 日
目的等	<p>目的</p> <p>当法人は、東京電力株式会社福島第一原子力発電所事故に伴い、国より避難指示を受けた飯館村民を支援することを目的とし、その目的に資するため次の事業を行う。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 飯館村の生活文化、経済、行財政、教育等に関する調査、研究及び情報提供 2 飯館村民の意識調査・アンケート等の企画、調査、研究及び情報提供 3 セミナー、講演会、イベント、交流会、相談会等の企画、運営及び開催 4 各種映像、写真、デジタルコンテンツ等の企画、制作、配信及び販売 5 出版物、印刷物等の企画、制作及び販売 6 インターネット及びカタログによる通信販売及びその仲介 7 経営、労務、経理等の事務代行及びコンサルタント業務 8 農作業等の受託及び受委託の斡旋 9 農産物の生産、加工及び販売 10 不動産の管理及び賃貸 11 前各号に附帯又は関連する事業
役員に関する事項	<p>福島県相馬郡飯館村飯樋字八和木 5 5 番地</p> <p>代表理事 横山 秀人</p> <p>理事 横山 秀人</p>
登記記録に関する事項	<p>設立</p> <p>平成 28 年 11 月 1 日登記</p>

これは登記簿に記録されている閉鎖されていない事項の全部であることを証明した書面である。

平成 28 年 11 月 7 日

福島地方務局
登記官

郡 司 一 夫



一般社団法人いいたてネットワークの概要

H29.12.20現在

資料 4

「できること」と「やってみたいこと」を仕事に！ 試行錯誤しながら前へ！

区分	飯舘村限定 地域シンクタンク (村の状況、村民の声等の把握・公開)	できること	やってみたいこと
一般社団法人	<ul style="list-style-type: none"> ●飯舘村議会会議録 及び 一般質問一覧<検索用> 平成22年12月～定例会、臨時会、特別委員会の議事録公開 ●飯舘村の未来を考えるためのデータブック (第1版) 飯舘村民からの提案・要望・意見等報告書 ⇒ 村等へ ※一般社団法人Bridge for Fukushimaとの共同事業 ●いいたてフォトマップ 飯舘村の現在の状況等を写真・動画にて公開 ※H28 福島県補助事業、H29 飯舘村補助事業 ●飯舘村避難解除に伴う健康支援・紐帯維持支援プロジェクト 村外コミュニティ再構築のため調査・HP作成等 ※NPO法人エコロジー・アーキスケープとの共同事業 (予定) 飯舘村行財政分析 ー村民がつくる財政白書ー (仮題) インターン生による調査、概要版作成 (H30.2-3月) (予定) 飯舘村の未来を考えるためのデータブック (第2版) 	<ul style="list-style-type: none"> ●いいたて農家支援センター 農業継承支援、記帳支援等 ●事務等代行 資料作成、案内送付等 ●農作業等受託 軽作業等の受託 ●飯舘村案内、講師等 震災時の紹介、村民の声等の紹介 ●いいたて”土業”ネットワーク 相談窓口、土業紹介等 	<ul style="list-style-type: none"> ●生活に彩りと癒しプロジェクト 村民体験交流事業 花びら添め、ハーバリウム 蕎麦打ち、マレーシア料理 ※H29 福島県補助事業 ●いいたて移動写真館 記録写真等の撮影 ドローンによる空撮 ●ファミリー家系図を楽しむ会 家系図紹介、講師 ファミリー家系図作成
H28.11.1-		<ul style="list-style-type: none"> ・一般社団法人いいたてネットワーク http://iitate-network.org/ ・いいたてフォトマップ http://www.iitatephoto.net/ ・ファミリー家系図を楽しむ会 http://family-kakeizu.com/ 	
任意 団体 H27.7.31- H28.10.31	<ul style="list-style-type: none"> ◆届け！避難者の声プロジェクト 第1～4回避難者の声レポート → 村、村議会 ◆飯舘村「転校」経験談紹介プロジェクト 第1回飯舘村「転校」経験談紹介レポート → 村、村議会、村教委 ◆飯舘村の未来を考えるためのデータブック (第0版) ◆講話「(避難指示)解除後に向けて」川俣町自治会 	<p>(お問合せ先)</p> <p>一般社団法人いいたてネットワーク 代表理事 横山 秀人</p> <p>メール iitate-network@office.nifty.jp</p> <p>ホームページ http://iitate-network.org/</p>	

一般社団法人いいたてネットワーク 連携及びご支援団体一覧

資料 5

※当社はとても小さな団体ですので、当初より、民間企業・団体・官公庁等との連携及びご支援等を前提として活動しています。

※下記以外の方々にもお世話になっておりますが、主な事業についてのみ記載しておりますのでご了承願います。

組織形態	年月	事業名	連携及びご支援団体	内容
任意団体	平成27年7月	届け！避難者の声プロジェクト	株式会社エイ・ティ・エフ（長野県松本市）	HP制作
	平成28年3月	飯舘村の未来を考えるためのデータブック(第0版)	一般社団法人Bridge for Fukushima（福島市）	共同制作
			合同会社シェアード・エスイー（福島市）	情報提供
一般社団法人	平成28年11月	いいたてフォトマップ（平成28年度版）	福島県（ふるさとふくしま交流・相談支援事業）	補助金・広報
			飯舘村	リンク承諾・広報
	平成28年12月	飯舘村の未来を考えるためのデータブック(第1版) 飯舘村の未来を考える会ワークショップ	Yahoo! 基金（東京都）	事業費助成
			一般社団法人Bridge for Fukushima（福島市）	共同制作
	平成29年4月	飯舘村避難解除に伴う健康支援・紐帯維持支援プロジェクト	合同会社シェアード・エスイー（福島市）	共同開催
			日本郵便株式会社（年賀寄附金による社会貢献事業）	事業助成
	平成29年6月	いいたてフォトマップ（平成29年度版）	NPO法人エコロジー・アーキスケープ（東京都）	共同事業
			飯舘村（までいな心の復興事業）	補助金
	平成29年8月	生活に彩りと癒しプロジェクト	合同会社RCラボ（福島市）	リンク承諾・広報
			福島県（ふるさとふくしま交流・相談支援事業）	補助金・広報
飯舘村			広報	
平成30年2月（予定）	復興・創生インターン受入事業（予定） ※現在、募集中	各講師先生、団体	講師	
		復興庁	実施主体	
		一般社団法人Bridge for Fukushima（福島市）	コーディネーター	

運営・事業	・福島県よろず支援拠点	・福島駅西口インキュベートルーム
展開等相談先	・福島県相双復興官民合同チーム	・飯舘村商工会